

マグノリア グループホーム運営推進会議 報告書

開催日	平成28年7月13日(水) 13:30~15:00			
開催場所	グループホームマグノリア			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者	12名	地域包括支援センター	1名
	利用者の家族	1名	行政(市長寿社会課)	0名
	地域住民の代表	2名	マグノリア認知デイ	2名
事業所出席者	施設長		グループホーム職員	
	グループホーム管理者			
欠席者	行政(市長寿社会課)			

1. 開会

- 施設長挨拶 28年度2回目の運営推進会議です。ご意見を頂き、参考にしていきたいと思っております。認知症デイサービスで運営推進会議を年2回予定で、今回、勉強の為、2名参加しています。

2. 3月・4月の利用状況報告

- 利用状況報告について

7/12 現在

入居者の状況	入居人数 (18名)	男性 (3名)	女性 (15名)
	要介護1 (4名)	要介護2 (5名)	要介護3 (4名)
	要介護4 (2名)	要介護5 (3名)	平均要介護度 (3.2)
	年齢 (平均 89.5歳)	(最若 78歳)	(最高 99歳)

れもんの家～要介護1 (1名) 要介護2 (3名) 要介護3 (3名) 要介護4 (1名) 要介護5 (1名)
 すみれの家～要介護1 (3名) 要介護2 (2名) 要介護3 (1名) 要介護4 (1名) 要介護5 (2名)

- 5、6月の状況報告

女性 [介護2] 5/17～ 入院
 女性 [介護3] 5/25～ 短期入所
 女性 [介護1] 5/31～ 入院
 女性 [介護3] 6/7～ 短期入所
 女性 [介護2] 6/18～ 入院
 女性 [介護3] 6/27 短期退所
 女性 [介護2] 6/27 退院

3. 事業所活動報告について

- (1) 5、6月活動状況

- 映像にて説明
- ご利用者より「(自分が写っているので) 恥ずかしいわ。」「ええのを見せてもらっ

た。楽しかった。」

(2) 職員研修会等

5/23～27 認知症実践者研修（西部） 5/27GH会議

6/13 明治勉強会 低栄養、脱水 13:30～14:30 6/14GH介護相談員 6/15ISO内部監査受審・全体会 7/4～8、7/19～23 認知症実践者研修（1名参加） 7/8 認知症絵本教室灘手小 7/14GH職員勉強会 7/15 灘手小とGH交流会 7/14.15.7/16 救急法（全職員出席） 7/21～8/18 ヘルパー実習受け入れ（GH） 8/6 夏祭り

<毎月定例してあるもの>

- ・ 1日：運営会議 ・ 15日：職員全体会
- ・ 第2火曜：リスク委員会 ・ 25日：在宅サービス課・通所課合同会議
- ・ 月末：GH係会議

4. ひやりハット報告について

(1) ひやりハット（5月： 8件、 6月： 29件）

※ヒヤリハットは事故が起こる前に気付いたこと、起こっても利用者には変化がなかった場合のこと

	転倒 転落	表皮剥離	異食	喉詰り 誤嚥	離所	業務ミ ス	情報共有 ミス	その他	医療	健康
5月	5	0	1	0	0	1	0	1	0	0
6月	12	3	1	0	1	2	2	4	2	2

(2) 事故（5月： 3件、 6月： 6件）

※事故とは起きてしまい利用者の観察が必要または治療が必要になったこと

	転倒・転落	ずり落ち	喉詰り・誤 飲・誤嚥	誤薬	離所	業務ミス	その他	医療
		しりもち					(表皮剥離)	
5月	3	0	0	0	0	0	0	0
6月	4	0	0	0	0	0	1	1

5. 意見交換

- ・ 民生委員：6月の事故で転倒時の車椅子やポータブルトイレの位置はどのようになっていますか？
- ・ 管理者：本人の状態や車椅子等の位置について説明5. 6月と転倒骨折事故による入院が2件ありました。どちらも転倒前にヒヤリが出ていたのに、対応策が不十分で防げなかったことが反省されます。車いすを置く位置が職員によって違っており、それ以降は写真や図で共有をしています。
- ・ 包括：7月8日灘手小学校絵本教室開催し、7月15日に交流会を予定しています。灘手小は年3回予定で第1回目が7月に予定。河北小学校も絵本教室を予定し、今年の交流会はマグノリアで予定。
- ・ 管理者：地域の方に参加してもらえればと、マグノリア夏祭りについて広報あり。
- ・ 民生委員：野菜の収穫はどこでされていますか？
- ・ GH：プランターをベランダに置き野菜を収穫しています。

- ・ GH : 7月3日、小学校の廃品回収は大雨にて中止になりました。

6. 検討事項

①県内障害者施設の虐待報道を受けてのマグノリアの対応について（管理者より説明）

- ・ 障害者虐待報道を受けて、当法人、マグノリアでも虐待・適切でないケアをしていないか確認をした（①虐待の芽チェックリストを職員に配布し不適切なケアをしていないか ②居室を施錠していないか等）。マグノリアグループホームの居室は鍵をかける事ができるが、居室の内から鍵を簡単に開けることができる。手足を縛る等の虐待は無い事を報告する。
- ・ 民生委員：自分も介護をしていたので、自分の思うようにいかない面倒な気持ちになるのは分かります。虐待とそうでない線引きが難しいですね。
- ・ 家族代表：家でみていたときは、ケンカをよくしていた。家ではトイレを汚したり大変でした。でもデイではそのようなことはない聞き、びっくりしました。デイに行っている間はゆっくりでき、安心しましたが、次第に慣れ、今度は「16時になったら帰ってくるからそれまでに帰らなくては」とか「もう帰ってくる」と思うようになりました。本当に入らせてもらってよかったです。
- ・ 管理者：介護をしている家族も職員も虐待のきっかけはひとつはストレスがあると思います。少しでも家族や職員のストレスに気づき、フォローできればと考えます。
- ・ 包括：先日テレビの番組で、介護殺人について特集しており、6年間に138件2週間に起きていると言っていました。包括も最近虐待について相談をよく受けるようになり、今年度倉吉市内で、5件の虐待を対応しています。家族さんもストレスを感じておられるのである。大変さは介護をしている方が一番良く分かっておられると思う。先日、上井地区社協主催で認知症の講演会を行い、認知症疾患医療センターの医師に話をさせていただき、とてもわかりやすかった。
- ・ 地域住民代表：研修に参加したがとてもわかりやすい研修でした。認知症は突然になるものと、じわじわとなるものがあると聞きました。なんのようにする事も大切だし、なっても支え合いができることが大切ですね。
- ・ 包括：医師が将来はほぼ全員が認知症になると言っておられた。認知症になっても住みやすい町を作ることが大切です。
- ・ 管理者：将来支える立場になる今の子どもたちに認知症の理解をしてもらうことが大切なので、グループホームも絵本教室などに協力して、地域貢献につなげていきます。今回はグループホーム側から、検討していただきたいことを提案させていただきました。今後もテーマを上げて皆様からのご意見をいただきたいと思っております。ありがとうございました。